

# "サイバーじゃない民族団"

壺井彰久 渡辺庸介 FALCON

violin

percussion

guitar

2019 08月28日(水)

開場 19:30

開演 20:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3000円+2drinks order

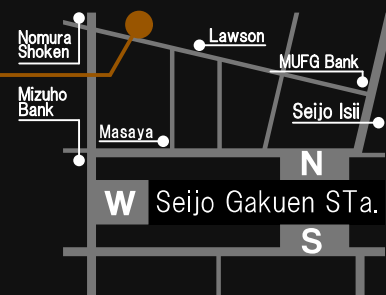
CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
ご記載ください。



壺井彰久

ロックからケルト、アラブ音楽までをその驚異的なテクニックと美しいトーンで「奏破」するヴァイオリニスト。自己のプログレッシブロックバンド「KBB」を率い、アメリカ/フランス/ポルトガル/メキシコなどの海外フェスにも出演し好評を博した。KBBの活動と平行してEra(壺井彰久/鬼怒無月デュオ)、オオフジツボ、WAWAWAWA(吉見征樹リーダーバンド)、一噌幸弘グループ、Trinite等にも参加。アコースティックでの豪快で繊細なプレイに加え、エレクトリックヴァイオリンを使用した独創的な音作りでも世界から注目を浴びる存在である。好きな食べ物：カフェブルマンのスパイシー・ナポリタン



渡辺庸介

1986年7月1日生まれ、京都府綾部市出身。タンバリンを軸に、あらゆる打楽器からボイスパーカッションまで様々な音色を駆使した、ジャンルにとらわれない柔軟かつ大胆なプレイが持ち味。幼い頃から和太鼓に親しむ。2005年、大学時代に北欧音楽バンド『Drakskip』を結成し、パーカッションと出会う。卒業後ほどなくしてプロミュージシャンとしてのキャリアをスタート。全国で演奏を行う。2015年に拠点を東京に移してからはジャンルの壁を超えて活動の幅を広げ、様々なミュージシャンと共演。新たなバンドにも数多く関わり、現在では年間約200本のライブを行う。これまで国内のみならず、アメリカ、フランス、スペイン、ブラジル、メキシコ、スウェーデン、フィンランドなど、様々な国と地域で演奏。土着的な民族音楽から歌モノポップスまで、ジャンルを問わず幅広い活動を続けている。



FALCON

広島県福山市生まれ。高校入学時からエレキギターを始め、ロックから多大な影響を受ける。サポートミュージシャンとして演奏活動を始め、変則チューニングでの作曲をきっかけにオリジナル曲を中心としたライブも積極的に展開。アコースティックギター、エレキギターにdelay, drone, loopなど空間的なエフェクトを活かした独自の奏法で、ソロでの演奏や、台湾原住民曲を取り入れた音響系バンド"Eri Liao Trio"、ジブシー音楽のエッセンスを取り入れた高橋誠とのduo、中西俊博、新垣隆、ウェイウェイ・ウーなどとの共演など、年間150本以上の演奏活動を行っている。自然や風景を描写して作った楽曲は様々なシーンで評価を得ている。